

# 令和4年教育委員会第5回定例会会議録

開会日時 令和4年5月16日 午前 10時00分

閉会日時 同 上 午前 10時26分

場 所 教育委員会室

出席委員 教育長 小花 高子  
同職務代理者 上原 有美江  
委 員 壺内 明  
委 員 望月 京子  
委 員 日高 芳一  
委 員 青柳 豊

## 議場出席委員

・教育次長	中島 俊一	・学校教育担当部長	菅谷 幸弘
・教育総務課長	山崎 淳	・学校施設担当課長	小野村守宏
・学校環境整備担当課長	尾崎 隆夫	・学務課長	羽田 顕
・指導室長	谷合みやこ	・学校教育推進担当課長	森 孝行
・学校教育支援担当課長	大川 千章	・統括指導主事	木村 文彦
・地域教育課長	須藤 義和	・放課後支援課長	高橋 裕之
・生涯学習課長	佐藤 秀夫	・生涯スポーツ課長	柿澤 幹夫
・中央図書館長	新井 秀成		

## 書 記

・教育企画係長 大石 睦貴

開会宣言 教育長 小花 高子 午前10時00分 開会を宣する。

署名委員 教育長 小花 高子 委員 上原 有美江 委員 壺内 明  
以上の委員3名を指定する。

議事日程 別紙のとおり

開会時刻 10時00分

○**教育長** おはようございます。それでは、出席委員は定足数に達しておりますので、令和4年教育委員会第5回定例会を開会いたします。

次に本日の会議録の署名は私に加え、上原委員と壺内委員にお願いをいたします。

それでは議事に入ります。

本日は議案等が1件、報告事項等が1件でございます。

それでは、議案第15号「葛飾区立宝木塚小学校改築基本構想・基本計画について」を上程いたします。

学校施設担当課長。

○**学校施設担当課長** それでは、議案第15号「葛飾区立宝木塚小学校改築基本構想・基本計画について」ご説明いたします。

「提案理由」といたしましては、葛飾区立宝木塚小学校改築基本構想・基本計画を策定する必要があるため、本案を提出するものでございます。

本件につきましては、令和4年3月31日、教育委員会第3回臨時会及び令和2年4月14日の文教委員会におきましても同案を庶務報告させていただいております。

それでは、別添の「葛飾区立宝木塚小学校改築基本構想・基本計画について」の資料をご説明させていただきます。なお、前回、報告させていただいた内容から追加した点をご説明いたします。

恐れ入ります、資料の5ページをご覧ください。5「既存施設の概要」の(2)「施設内容」でございます。表の中段にある特別教室の諸室名で「少人数教室」、「教育相談室」を追記しました。

次に20ページをご覧ください。新校舎の「配置比較表」になります。左上の西側校舎案の図で、二重線がかかっている灰色の箇所「仮設校舎」の文字を追記いたしました。議会からの仮設校舎の位置が分かりづらいとのご意見を反映したものでございます。また、隣の図の北側校舎案、また次のページにあるL字型校舎も同じく表記してございます。なお、ここの三つ、西側校舎案、北側校舎案、L字型校舎案を検討し、20ページにある西側校舎案が校庭がもっとも広く、また全体工期が一番短いことから、この案を採用してございます。

続きまして、22ページをご覧ください。こちらの3「ゾーニング案」ですが、新たに日陰の規制図を示す線を追加してございます。上にある紫の3時を示すラインには午後3時、オレンジ色の文字のラインは午後5時の日陰の範囲を表し、時期は12月の冬至を想定してございます。

また、左にあります5メートルから10メートルまでで、5時間未満の日陰規制がありますが、その範囲で日陰が収まっていることが示されてございます。

続きまして、25ページをご覧ください。「参考スケジュール」でございます。表の上から2

番目の設計ですが、令和4年6月開始であったものを7月開始となっております。なお、このことにより工事スケジュールの変更はございません。

最後に、後ろから2枚目にある、右上に「参考資料」と書かれました「葛飾区立宝木塚改築基本構想・基本計画について」の資料をご覧ください。

近隣説明会や保護者等への周知を行いましたので、その結果を報告いたします。1「近隣説明会の開催概要」では、令和4年4月25日に宝木塚小学校で行い、参加者8名でございました。主な質問と回答は後ほどご説明いたします。

また、2「保護者等への周知概要」では、改築基本構想・基本計画案の概要についてのお知らせを配布しました。

そのほか3「動画による説明」では、4月18日から葛飾区公式YouTubeにて公開し、5月2日まで質問を電話や葛飾区公式ホームページで受け付けましたが、問い合わせはございませんでした。

なお、この動画の再生回数は5月10日現在、177回でございます。

恐れ入ります、裏面の別紙1をご覧ください。主な質問と回答でございます。1番から5番までは建築に関すること。また6番以降は主にプールに関することでございます。抜粋して紹介させていただきます。

1では、「2階に配置する体育館の屋根の高さは、何階ぐらいに相当するのか」との質問に対し、4階建て新校舎の屋根と同程度の高さを相当していると回答してございます。

また5の「新校舎による日影の影響が心配である」ということにつきましては、「日影規制を順守し、近隣に配備をしながら設計を行います。改めてこのような説明会を開催します」と答えています。

次に6では「学校付近に大型バスを止められるようなところがないと思われるが、学校外の民間プールに行く際の子どもたちの安全は確保できるのか」では、児童の移動に関する安全確保の質問でした。それに対しましては、「学校付近に大型バスを止めづらいことありますが、付近に止めやすいマイクロバスを活用している学校もあります。駐車場所やバスの大きさ、誘導員の配置場所といった安全管理について、学校と協議を行いながら、子どもたちが安全に移動できるようにしていきます」と回答いたしました。

そのほか、次のページの7では、プールを利用する際の感染リスクに対しての質問と回答を記載してございます。

今回、議案として提出いたしました葛飾区立宝木塚小学校改築基本構想・基本計画につきましては、構成や項目などの内容について、3月の教育委員会で報告しました案から大きく変更した箇所はございません。しかしながら、近隣の住民の皆様から様々なご意見を頂いておりますので、実務を担う施設部とともに、引き続き丁寧な対応をしながら、子どもたちの教育にとって大切な

学校改築を着実に進めてまいります。

私からの説明は以上でございます。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

○**教育長** ただいまの説明について、ご質問などございますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、お諮りいたします。議案第 15 号について、原案のとおり可決することにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○**教育長** 異議なしと認め、議案第 15 号について原案のとおり可決といたします。

以上で議案等 1 件を終わりといたします。

続きまして、報告事項等に入ります。報告事項等の 1 「令和 4 年度教育研究指定校等の決定について」の報告をお願いします。

指導室長。

○**指導室長** 「令和 4 年度教育研究指定校等の決定について」ご報告いたします。

この取組は、かつしか教育プランの施策「区民の信頼にこたえる学校づくりの実現」へ向けた取組の一つで、学校に教員の研修を組織的、計画的に位置付け、相互の授業観察や授業研究を通して、主体的、対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりを進めるものでございます。

まず教育研究指定校につきましては、設置期間を原則的に 2 年間とし、2 年目には授業公開及び研究発表を開催いたします。今年度は 1 年次、2 年次ともに 9 校ずつ、2 年次の 9 校は 10 月 7 日を皮切りに、2 月にかけて研究成果を発表いたします。コロナ禍においては対面とオンラインを組み合わせましたハイブリッド型の発表を行うよう、担当指導主事が各校と調整を重ねております。

グループ研究は学校単位に限定せず、教員の有志 5 名以上が集まり、教科等に関する実践的な研究を行い、その成果を指導に活用するものでございます。

今年度は、上小松小学校の教員が「ICT の効果的活用による授業の充実」について取り組んでまいります。

次に、教育モデル校には 3 種ございまして、授業充実モデル校は小学校 2 校、幼稚園 2 園が、授業の充実に向けた地域人材や外部講師等の活用。体力向上推進校は、小・中計 6 校が、体育等における体力の向上に向けた外部講師の活用。生命尊重教育推進校は、昨年度から始まった取組でございまして、小・中 1 校ずつが道徳科の内容項目のうち、生命の尊さについての学習の中で、東京かつしか赤十字母子医療センターと連携した授業を実践し、生命尊重教育をより一層推進させるものでございます。

説明は以上でございます。よろしくお願いいたします。

○**教育長** ただいまの報告について、ご質問、ご意見などございますでしょうか。

では、初めに上原委員からお願いいたします。

○**上原委員** 教えていただきたいのですけれども、四ツ木中学校のキャリア教育の Society5.0 を生き抜く力を育成するキャリア教員の取組というのはどういうことをするのでしょうか。

この Society5.0 について、人間が道具を使うような時代になったからとか、どんどん時代によって生きていく力というのが変わってくるというのをインターネットで見たのですが、実際、その中からどういうことを学んでいくのか。キャリア教育となっているから、多分そういうものを生かしていく教育なのだと思うのです。これからの時代を生き抜く力なのだろうけれど、それをどのようにやっていくのかなというのが、知りたかったのです。

○**教育長** 指導室長。

○**指導室長** 今、お話にございましたとおり、Society5.0、ICT機器等の活用について主に取り組んでいくという報告を受けておりますが、具体的な方法については別途ご報告をいたします。

○**上原委員** インターネットで調べたときに、1分ぐらいで分かるというのがあって見たのですが、それだと、時代、時代で、人間が変わっていくというのを幾つかの時代に切り分けていたのですね。それで、これからの生き方という形だったのですけれども、具体的にその先はなかったのです。それで、四ツ木中学校は、これをどういうふうにするのかなというのが知りたかったので、後で分かったら教えてください。

○**指導室長** ご報告申し上げます。

○**教育長** ありがとうございます。ほかにいかがでしょうか。

壺内委員。

○**壺内委員** 葛飾区ではいろいろな研究を学校現場が一生懸命になって教育委員会と連携しながらやっていることを、とてもうれしく思っております。

この教育研究指定校、グループ研究、それから教育モデル校の3分野、各校にどれぐらいずつ研究助成費を出しているのか教えていただければと思います。

○**教育長** 指導室長。

○**指導室長** 教育研究指定校・教育モデル校につきましては、令和4年度の予算で、総額で675万円ついております。グループ研究及び各予算の内訳につきましては、別途ご報告させていただきます。

○**教育長** 壺内委員。

○**壺内委員** 全国的にモデル校はたくさんあります。東京都内でもたくさんあります。コロナで難しいかなとは思いますが、いろいろなことを学びながら、お互いに研究を深めていくために先生方が視察等もできればいいなと思います。研究指定にふさわしいこのテーマ、全部、子どもたち一人一人に重要な資質能力の育成に必要なのです。そういうことも考慮しながら研究活動を深めていただきたいと、このように考えています。

○**教育長** いろいろご意見も踏まえながら検討してまいりたいと思います。

それでは、日高委員、お願いいたします。

○**日高委員** 今、いろいろなご意見もありましたけれども、本当にこれだけの学校が発表するのは大変なことです。教育委員会としては大変多くの予算をつけているなと思います。

よくお調べいただくと、1年次の研究と2年次とは全然違うと思いますよ。2年次は、発表と、研究紀要をつくりますよね。今はいろいろな工夫をして、CDに焼きつけたりするようなところもありますけれども、そういうふうに予算がかなり2年次には多くなっていると思いますので、その辺は後ほどお調べいただければありがたいなと思います。

それから、この2年目の研究発表。どういうふうな発表になっていくのか期待をしたいと思います。コロナ禍で各学校が大変努力をして、発表の工夫をしました。オンラインで実施したりいろいろやりましたけれども、今後はどういうふうな考えでいらっしゃるのか、もし分かれば教えてください。

○**教育長** 指導室長。

○**指導室長** 各9校に対しましては、授業公開は現在の感染状況であれば、実施をしてほしい。学年で1クラス以上は授業を行うということを原則としております。しかしながら、その際は人数を制限いたしまして、対面とオンラインを組み合わせたハイブリッドで行っていくと。

昨年度も、実はオンラインを主にいたしました。回線上のトラブル等がございまして、配信がうまくいかなかったという事案もございました。ですので、オンラインの映像を行うときにはICT支援員と連携し、また接続方法等も、こちらが介入いたしまして、例えば画面を切り替えるですとか、そういった複雑な方法ではなく、シンプルな方法でやっていくというような細かい相談等にも乗っているところでございます。

9校ともその方針に従って、今、計画を進めていただいております。

以上でございます。

○**教育長** 日高委員。

○**日高委員** ありがとうございます。期待を持てるので、大変うれしいなと思います。ぜひ、このコロナ禍がうまく整理できて、そして各学校が主体的な発表ができることが、区内の学校に大変大きな影響を与えているのです。

これだけの学校が発表するというのは、東京都内、恐らくないと思います。それぐらいに誇れることです。ぜひ力をかけていただいて、各学校の発表ができればいいなと思います。

それからもう一つ、私は、中学校がこうして研究指定校に乗ってくるというのは非常に大事だなと思うのです。他の自治体の学校と比較することではありませんけれども、いつも中学校はかなり少ないのです。でも、葛飾区はこうやって2年次の発表が2校、しかも1年次のところは3校もあるというのは大変うれしいなと思いました。

こういうふうに、学校が主体的に研究を推進しようということは教員の資質向上につながって

いるのです。これは、とても大事なことでありまして、専門性を磨くにしても、こうした校内研究というか、研究発表というので力を付けていくわけですから。また、力を付けた先生方が他区に出ていかれると、そこでまた大いに力を伸ばしていくということも考えられるわけで、相乗効果で非常にいい結果をもたらします。ぜひ、今後とも力を入れていただくとありがたいなと思います。

よろしくお願ひしたいと思います。以上です。

○**教育長** ありがとうございます。ほかにはいかがでしょうか。

望月委員。

○**望月委員** ここ2年間ぐらい研究発表が少なかったというか、なかった年もありましたけれども、今年になってからだと思いますが、2校ぐらい行かせていただきました。やはりこの研究発表というのは、先生方が本当に努力して、研究をして、皆さんと話し合いをして、それで発表していただける。今年、コロナが落ち着いて、これができるようになればいいなと願っております。各学校にも頑張ってもらいたいということを伝えていただければと思います。よろしくお願ひします。

○**教育長** ありがとうございます。ほかにはいかがでしょうか。

青柳委員。

○**青柳委員** 教育指定校等のご説明どうもありがとうございました。僕も今年になってから初めて学校の研究発表会に参加させていただきまして、先生方の努力と教育委員会のバックアップや連携が大事なのだなというのを感じて、また今年度、新たに取り組まれた発表というのを見るのを楽しみにさせていただいています。

その中で1点、基本的な質問になってしまうかもしれませんが、教育モデル校として、授業充実モデル校、体力向上推進校、生命尊重教育推進校、三つの分野における授業充実モデル校、体力向上推進校の外部指導員を派遣してというところの話をお伺いしたのですけれども、その結果どうなったとか、こういうところがよくなったとかいう発表などもあるのでしょうか。

○**教育長** 指導室長。

○**指導室長** こちらモデル校3種につきましては、特段発表を求めてはございません。校内での共有と、校長会等での共有。そういった形で成果を発信していくという取組でございます。

以上でございます。

○**教育長** 青柳委員。

○**青柳委員** ありがとうございます。外部指導員が入ってくるのに関して、非常に興味があります。体力向上であるとか、授業充実というところの、学校の先生方とは違う切り口のプロの方が来られるのかなというところもあると思います。

校長会等の会議があったときにでも、どういう感じだったかというのを聞いてみたいなと感じました。

○**教育長** ほかにはいかがでしょうか。よろしいですか。

ただいまのご意見なども踏まえながら、進めてまいりたいと思います。ありがとうございました。

以上で報告事項等の1を終わりいたします。

以上で本日の議事は全て終了となりますけれども、その他何かご意見、ご質問などございますでしょうか。

日高委員。

○**日高委員** 意見ということで聞いていただければと思います。

5月号の総合教育センターからの資料、ありがとうございました。内容が、今、非常に問題になっている、特にいじめの部分ですけれども、緊急の事態が発生しているその中、解決もまだ十分ではないと思います。でも、ああいう資料が出されることによって、学校はすごく意識すると思うのです。

しかも、いじめについて、初期の対応がいかに大事かということをそこで述べているし、同時に初期対応だけではありません。学校内における、教員との意思疎通、つまり「ほう・れん・そう」です。報告、連絡、相談というものをもっとしっかりやってくださいというお願い、啓発なのですよね。大変重要だと思います。特にそういう生活指導上等の大きな問題の対応の基本は、そこにかかっていると思いますので、各学校の本当に啓発につながっていくと思いました。

そういう意味で、総合教育センターの先生方にもどうぞすばらしかったということをお伝えいただければ、ありがたいと思います。

以上です。

○**教育長** ありがとうございます。ほかにはいかがでしょうか。よろしいですか。

それでは、以上をもちまして令和4年教育委員会第5回定例会を閉会いたします。ありがとうございました。

閉会時刻 10時26分